

野浪千鶴ちゃん、この前の例会に手造りスキーを有難う。美味しかった、そしてみんなが嬉しかった。

おおとのねんとうのじ

(文、伊藤純雄 題、編集カッパ)

あけましておめでとうございます。

さあ、いよいよ80年代。この年代はどんな年代になるのでしょうか。世界のこと、世の中のこととはさて置いて、JRP三重支部について考えると、私は三重支部が百万石の夢を実現する年代になることは間違いないと思えるのです。

昨年は多くの会員の皆さんの努力によって、昨年度の本部会員の目標50名を突破するという成果を認めただけでなく、支部会員を含めると60名を越えるという予想以上に大きな支部の実数となりました。

これは直接新しい会員をJRPに誘ってくれた会員の皆さんの努力は言うまでもありませんが、新入会員の集りや写真教室に自宅を提供してくれた会員。またはこれらの集りに、「大先生」をはじめ、『ちゅう(鮎)先生』、『しょう(暁)先生』、『こーし』、『アシタノ』、『やじ馬』等それぞれ役割を果たしてくれた多くの会員の努力があったから出来たことだと思います。それに色々な方法で会員になる人を紹介してくれた、会員外の人達の協力も忘れられないと思います。

新しい会員は、みんな若い人達(元氣溌刺大正青年会を指す)ばかりですから、今後JRPの発展に大きな力となることは請合いです。こんなに支部が大きくなって、例会その他支部運営をどうやっていくのかという心配もあります。事務局にとっては嬉しい頭痛になりそうです。年令の開き(年齢のことと言ふの声あり)、超ベテランから初心者まで、写真経験の開きも相当中たくあります。これらすべての会員の写真に対する要求を満たすように、事務局でも色々工夫していきたいと思っていますが、今年は何よりも、それぞれの地域やグループで自主的な活動運営を、どんどんやってほしいと願っています。「部・班・藩・組・連・グループ」名前はなんでもいいと思います。昨年もしくつかの地域でこうした動きもありましたが、今年はそれをいっそう伸ばしてほしいと思います。

「百万石」まかせただけでなく、「やんぐみえばん」を俺にやらせろとか、「鈴鹿塔の瓦版」の改訂込みとか、「五ヶ所海賊版」の出現とかもあっていいと思いますし、青年部=大正青年会を伴水との声あり、婦人部=女性だけなんて絶対反対との女性の声あり、なども作るのもよいと思いますが、あなたにもあなたにも、もっといい考えが、企画があるでしょう。要するに何でもいいのです。今年はひとつ自由奔放にやってみようではありませんか。事務局はこうした諸活動の連絡や世話役など、小使さん的な役割も果たすつもりですから、大いに利用してほしいと思います。

こんなことを言っていると、やっとな百万石の半分は達したばかりだというのが支部長として甘いぞという声もかかりそうですが、昨年1年間の会員の皆さんの活躍を見てみると、80年代それもかなり早い時期に、百万石が実現されそうな確信が湧いてくるのです。

百万石が達成された時、三重支部はどうなるのか色々楽しい想像をしながら今年もさあ頑張らましよう。

1980年1月1日

日本リアリズム写真集団三重支部
支部長 伊藤純雄

はいじん しやじん 一 廃人 捨人 ?

題、編集カッパ

この「百万石」が出るころにはもう旧聞になってしまっていますが、かの山村党が夜討ち朝駆け昼寝をしている「ふるさと」に、私もついに足を踏み入れたのです。

その日、11月22日、出発するときは少々空模様も怪しかったのですが、きっと私たちの熱気に恐れをなしたのでしょう。現場では、雪が切れていい具合に日がさしてくれたのです。聞けば三重県例は終日雨だったそうです。

そこには、私の少年のころの村のたたずまいがそのまま残っていました。

本当のことをいうと、私にはもうそれだけで充分だったのです。しばらくぼんやりしたいい気持の状態に突立っていたように思います。

あしたから会社行くのいややなあ、なんておもっていると、スミオさんが「政美さん、寝ころんで排句でもつくるとる方がええんとらげうか」とひやかすのです。何いうとんのや、写真とるんやできようは、バッチバッチとるんやから、と気合入れたのですが……。ええなあ、バシヤ、うんええなあ、カシヤ、といった具合でなかなかしまらないのです。

カメラを構えながら、「光ってこい、ひかってこい」とスミオさんがいいます。私はピカリスミオなどといったのですが、そのうちこれだな、とおもったのです。何がこれなのかうまく説明できませんが、私にはわかったのです。そのを見ようとする気持がわかったのです。私の排句の先生がいった言葉に「山に日が当たっている、と思ったとき、心にも日が当たっている」というのがあります。スミオさんの「ひかってこい」と同じだとおもいます。キラッ、ウム、カシヤッ、なのです。

結局6本撮りました。写真がとれたかどうかはわかりません。でも、私はもっと大事なものをとってきたのです。

帰ってからまたぼんやりしていました。寝る前に、やっぱり排句も書きました。

枯れはじを 宇陀の藤原 あたたかし
やっくりと 秋の種子蒔きくもりたす
種子蒔きし 畑の辺り 澄んであり
ひとりずつ 火へ出てくるぬくい冬
火灯とせは 刈田から 風吹いてくる

俳人は排句を書きなさい、写人(こんな言葉あったかな?)は写真撮らなさい、オレにも やっとなれやなあ、ムニヤムニヤ...

伊藤 政美

ひとくちMEMOひとくちMEMOひとくち

フィルムの水滴をとる時、スポンジはほんのチョッぴりしぼるだけがいい。

フィルム現像のいのち、それは現像液に漬かる最初の数秒だ。

引伸し技術の上達の秘訣は、むつかしいネガを徹底的に焼いてみるこである。

10枚をいい加減に伸ばすより1枚を真実に

トライはすばらしい。ネパシ400はすばらしい。イルフォードのHP5はすばらしい。要は使い込んで好きなのを決めることだ。



三重支部はのんびり支部。だがきびしい所がひとつある。それは会員の加入の期限。